

意見提出者	日本ユニシス株式会社
1. 項目	自治体クラウドにおける「データ」や「設定情報」の出力対象の明確化
2. 既存の制度・規制等によってICT利活用が阻害されている事例・状況	ASP・SaaS事業者ではデータや設定情報に秘匿しているものがあります。「データ及び設定情報」という記載が、このような業者が秘匿したい情報を含むように解釈可能な記述であると、ASP・SaaS事業者は規程には準拠できないと判断する懸念があります。
3. ICT利活用を阻害する制度・規制等の根拠	<p>財団法人地方自治情報センター 「自治体クラウド開発実証に係る標準仕様書（平成21年度版）」</p> <p><b>【P.73】</b> <b>【章／項】</b> 5.今後の検討課題 （3）LGWAN （C）普及促進施策</p> <p><b>【ICT利活用を阻害する記載内容】</b> サービス事業者を容易に乗り換えできるようにして普及促進を図るため、サービス事業者に対して、データ及び設定情報を出力できる機能の提供や求めに応じて詳細設計レベルの資料提供及び解説をLGWAN-ASPとして義務化することの検討</p>
4. ICT利活用を阻害する制度・規制等の見直しの方向性についての提案	「データ」や「設定情報」には、ユーザから預っている「データ」やユーザの指定した「設定情報」と、ASP・SaaS事業者自身の構築している稼働環境に関する「データ」や「設定情報」があり、後者は秘匿していることがあります。提供を義務化する「データ」や「設定情報」は、ユーザから預った「データ」やユーザの指定した「設定情報」であり、ASP・SaaS事業者自身が構築している稼働環境に関する「データ」や「設定情報」ではないことが明示されるよう、ご検討をお願いいたします。